

MODELLISTA

MSD44-58013/14 サイドスカート

取付・取扱要領書

この度はモデリスタサイドスカートをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
本書は本商品の取り付け、取り扱いについての要領と注意事項を記載してあります。
取り付け前に必ずお読みのうえ、正しい取り付け、取り扱いを実施してください。

★ 本商品は登録後架装を前提としています。

■ 品番・適合車種

品 番	塗装色	適合車種	備 考
MSD44-58013-A0	ソニックオーツ	LM ' 23.11～	
MSD44-58013-C0	グ ラファイトブ ラックガラスフレク		
MSD44-58014-NP	未塗装品		

・最新の適合情報はMODELLISTAカタログサイトをご覧ください。 <https://www.modellista.co.jp/>

構成部品

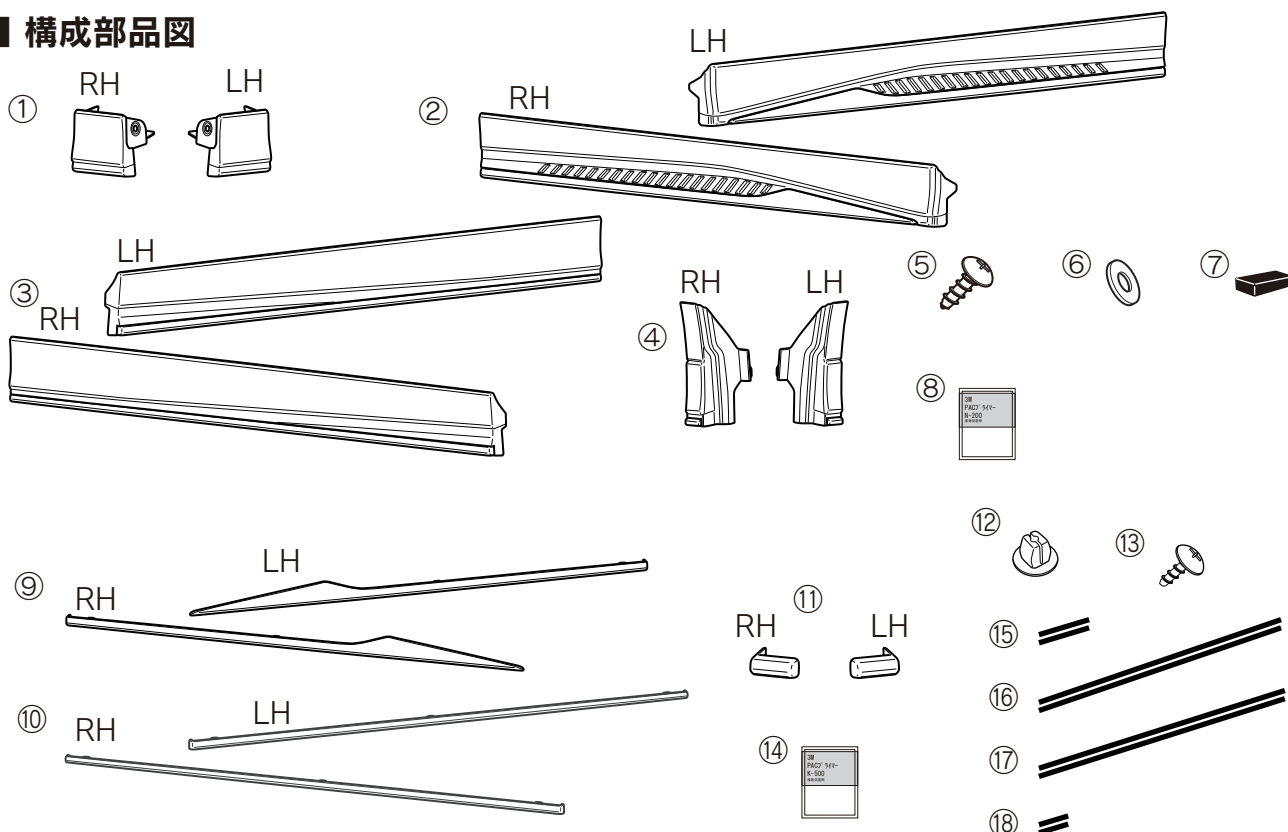
No.	部 品 名	数 量	備 考
①	フェンダーパネル (RH/LH)	各1	材質：PP
②	フロントドアパネル (RH/LH)	各1	材質：PP
③	スライドドアパネル (RH/LH)	各1	材質：PP
④	クォーターパネル (RH/LH)	各1	材質：PP
⑤	タッピングスクリュー	18	3×15
⑥	平ワッシャー	18	
⑦	ゴムスペーサー	2	t 3×10×20
⑧	PACプライマー	1	N-200

以下、MSD44-58014-NP（未塗装品セット）のみに同梱

No.	部 品 名	数 量	備 考
⑨	フロントドアメッキパーツ (RH/LH)	各1	材質：ABS
⑩	スライドドアメッキパーツ (RH/LH)	各1	材質：ABS
⑪	クォーターメッキパーツ (RH/LH)	各1	材質：ABS
⑫	グロメット	22	
⑬	タッピングスクリュー	22	5×12
⑭	PACプライマー	1	K-500
⑮	エンドモール (ブラック)	2	L=95mm (青タブ)
⑯	エンドモール (ブラック)	2	L=960mm (青タブ)
⑰	エンドモール (ブラック)	2	L=1015mm (赤タブ)
⑱	エンドモール (ブラック)	2	L=28mm (赤タブ)

※確認・本商品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。

構成部品図



取り付け上のご注意（取付作業の方へ）

⚠ 警告

この内容に従わず、誤った取り付け・取り扱いを行うと生命の危険または、重大な傷害等を負う可能性がある内容について記載しています。

⚠ 注意

注意事項を守らないで、誤った取り付け・取り扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがある事を記載しています。



アドバイス

スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

⊘ やってはいけないこと

❗ 必ず行なっていただくこと

⚠ 警告

- ⊘ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故や故障を招くおそれがありますので絶対に行わないでください。
- ❗ 本商品の取り付け・交換は、該当車両の修理書(トヨタ自動車㈱発行)に従い、本書の注意事項をまもり作業を行ってください。

⚠ 注意

- ❗ 本商品を取り付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取り付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。
- ❗ 本商品の取り付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取り扱いを行ない、同時に取り付け部位を保護材にて養生をした上で作業を行ってください。取り付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

脱脂作業について(別添の脱脂作業要領も参考にしてください。)

- ❗ 脱脂作業を行う際は、清潔なウエスを使用して、イソプロピルアルコール(IPA)を使用し、上記以外の溶剤は絶対に使用しないでください。
- ❗ 脱脂作業にボディーコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂が出来ず浮き、剥がれの原因となります。

両面テープについて

- ❗ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。
- ❗ 両面テープは一度貼り付けてから剥がしますと、接着力は低下しますので再貼り付けはできません。
- ❗ 本商品の両面テープは、環境温度が20℃以下の低温時には接着能力が著しく低下します。温度が足らないと両面テープが剥がれます。
- ❗ 両面テープの圧着は49N(5kgf)以上(車両が軽く揺れる程度)で確実に行ってください。圧着が足らないと両面テープが剥がれます。
- ⊘ 本商品の取り付け後24時間は、洗車や水(水拭きを含む)・雨などが、かからないようにしてください。装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

取り付けが終わったら

- ❗ 取り付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
- ❗ 作業でバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。
- ❗ 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。該当車両の修理書(トヨタ自動車㈱発行)に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

■ 目次

- 1.表紙、品番・適合車種、構成部品、構成部品図 1～2
- 2. 取り付け上のご注意（取り付け作業の方へ） 3
- 3.目次、取り付けに必要な工具・保護具・消耗品、保証について、取り付け構成図 . . . 4
- 4.取り付け準備、取り付け要領 5～17
- 5.取り付け完了後の点検・注意事項 18

■ 取り付けに必要な工具・保護具・消耗品

- ・ 一般工具・トルクレンチ
- ・ 加工用工具（ハサミ・カッター・ニッパー等）・ケガキ針・保護メガネ
- ・ 軍手・保護シート・保護テープ・マスキングテープ・養生テープ
- ・ イソプロピルアルコール（IPA）など・清潔なウエス

■ 保証について

本商品は、3年・60,000Kmの保証を実施致します。

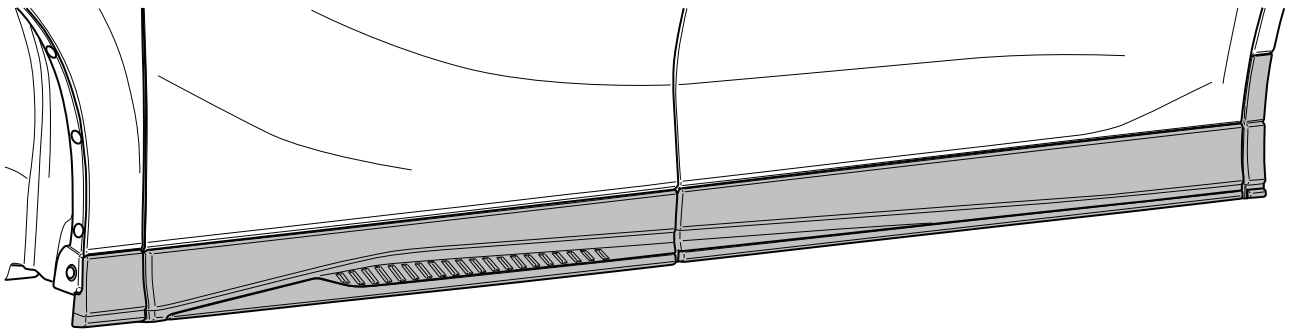
（3年または60,000Km走行時点のいずれか早い方まで）

※保証の詳細は MODELLISTA パーツカタログサイト<<https://www.modellista.co.jp/>>

「保証について」をご覧ください。

■ 取付構成図

※LH図示

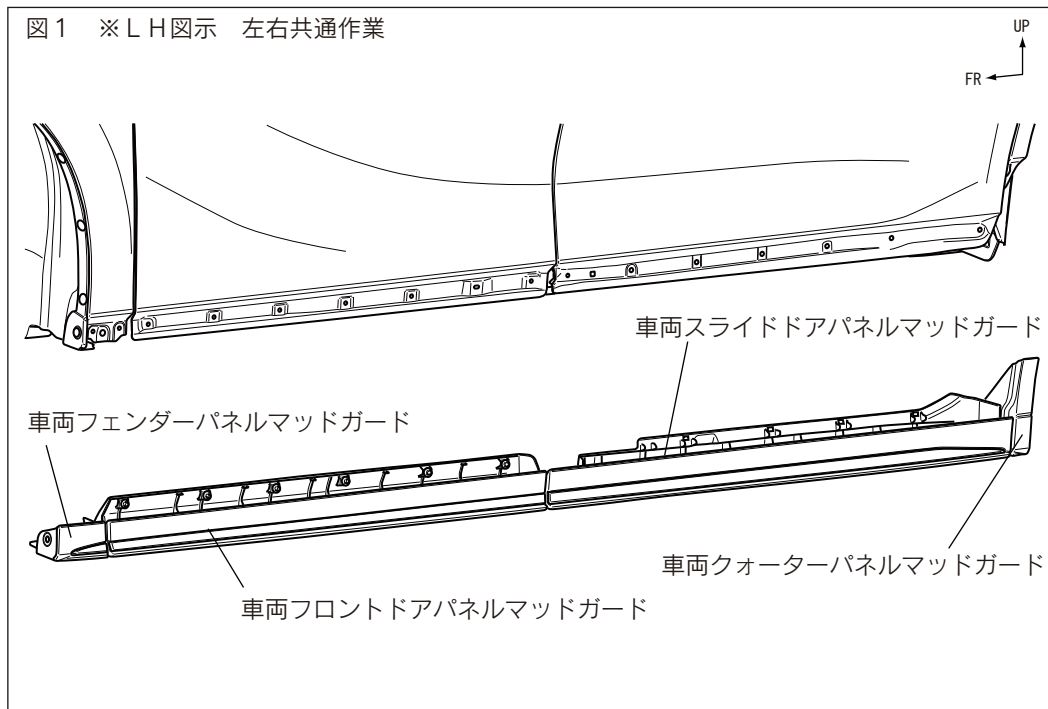


■ 取付準備、取付要領

※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

□ サイドスカート取付準備

図1 ※LH図示 左右共通作業



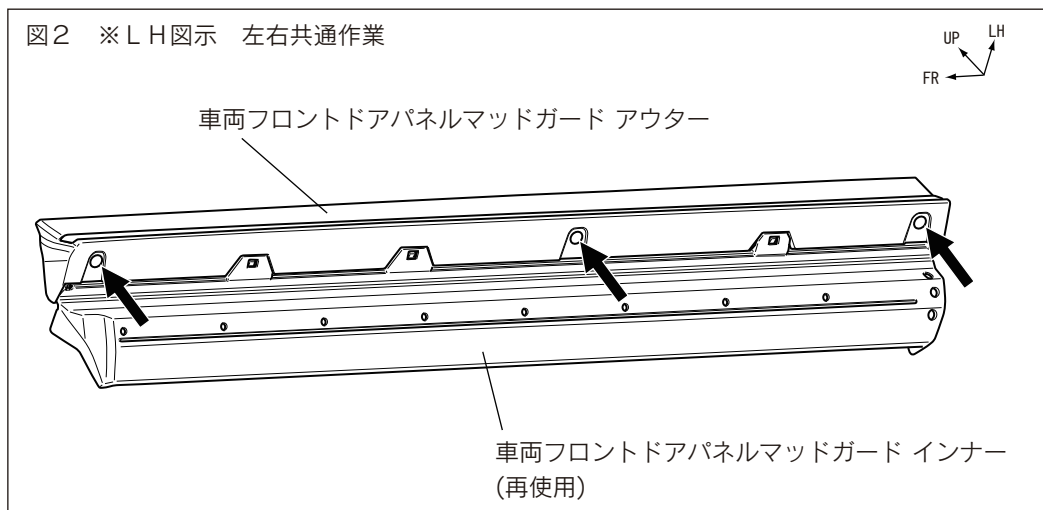
1. 図1のように車両フェンダーパネルマッドガード、フロントドアパネルマッドガード、スライドドアパネルマッドガード、クォーターパネルマッドガードを取り外す。



アドバイス: 車両部品を取り外す際は、トヨタ自動車整備マニュアルを参照して下さい。

△注意: 取り外した車両クリップ・車両タッピングスクリュー・車両ボルト・車両ナットは再使用しますので、紛失しない様ご注意ください。

図2 ※LH図示 左右共通作業

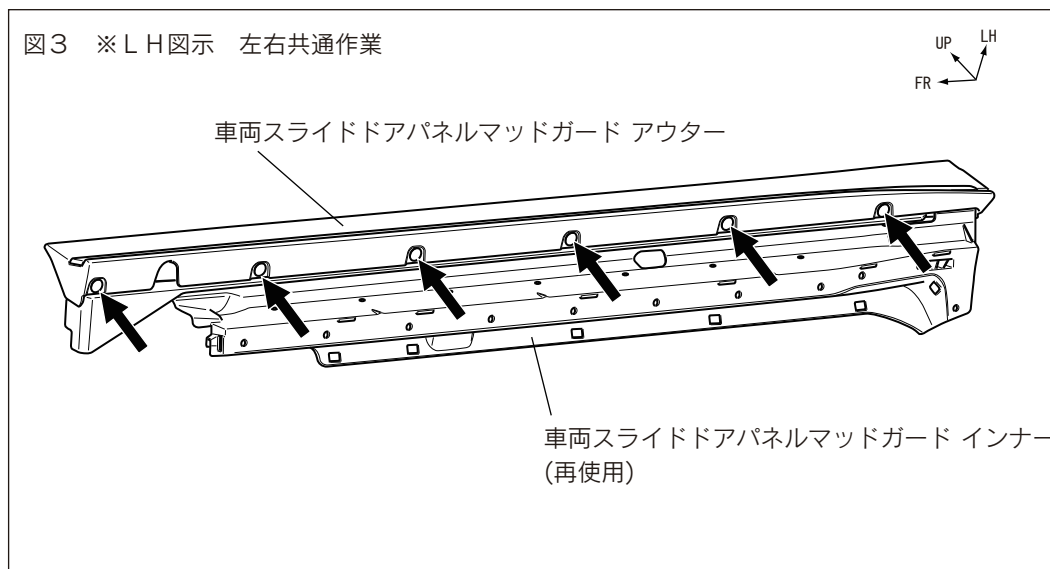


2. 図2のように車両フロントドアパネルマッドガードの下面リベット箇所を取り外し、アウターとインナーに分解する。

△注意: 穴あけ作業時は保護メガネを着用してください。

△注意: 取り外した車両フロントドアパネルマッドガードインナーは再使用しますので、傷付き等ない様ご注意ください。

図3 ※LH図示 左右共通作業

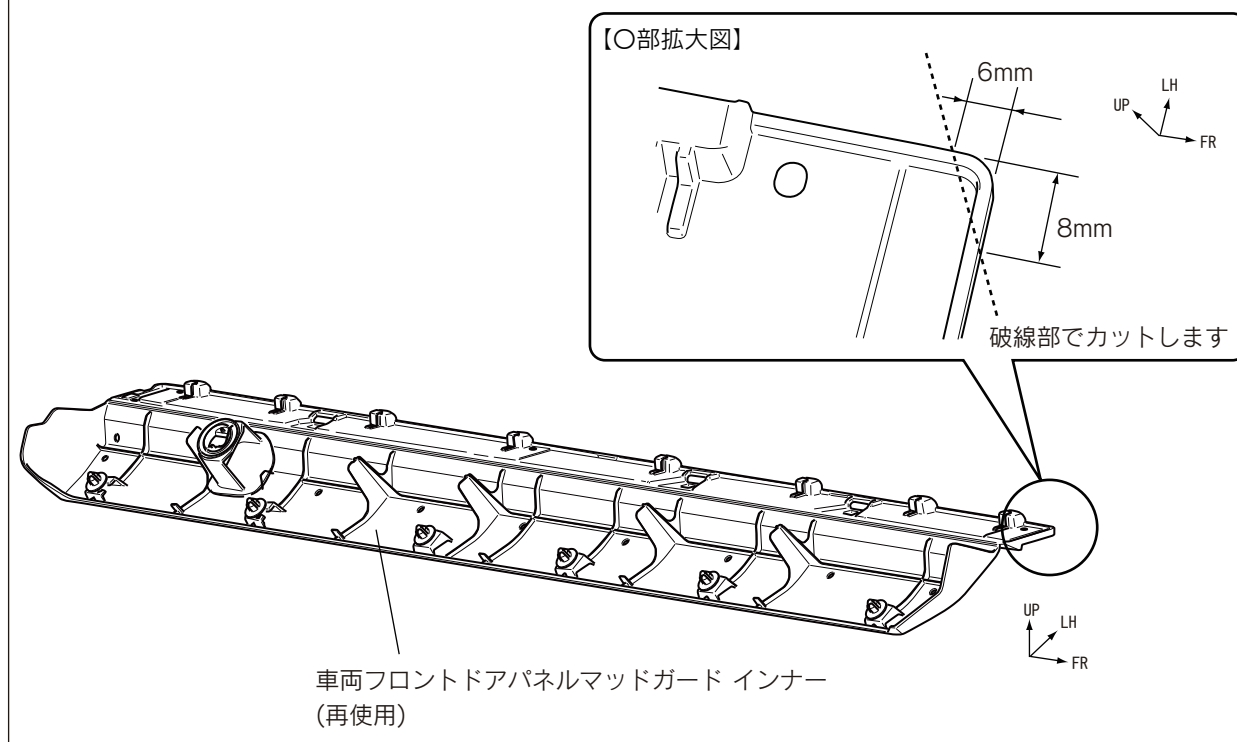


3.図3のように車両スライドドアパネルマッドガードの下面リベット箇所を取り外し、アウターとインナーに分解する。

△注意:穴あけ作業時は保護メガネを着用してください。

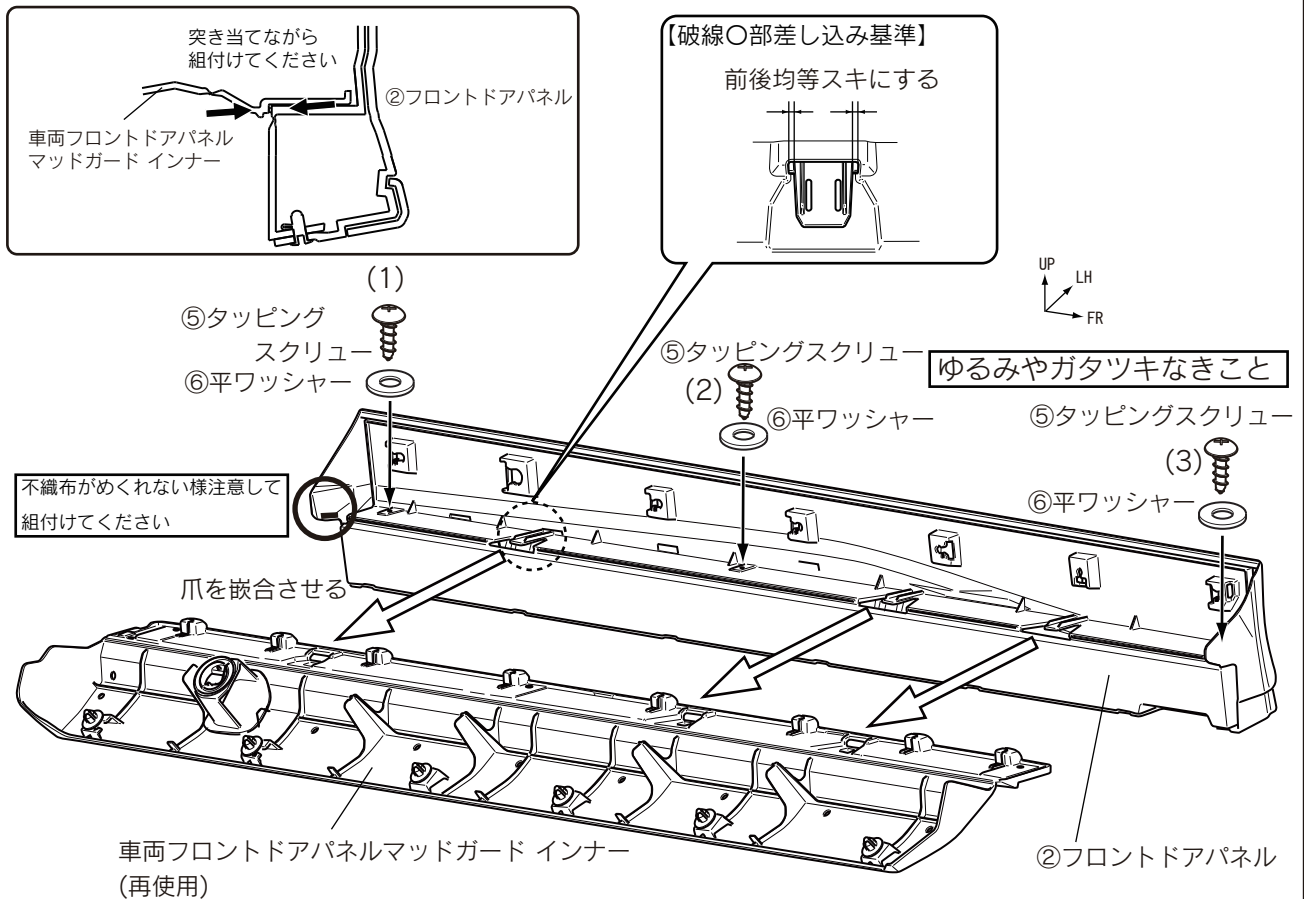
△注意:取り外した車両スライドドアパネルマッドガードインナーは再使用しますので、傷付き等ない様ご注意ください。

図4 ※LH図示 左右共通作業



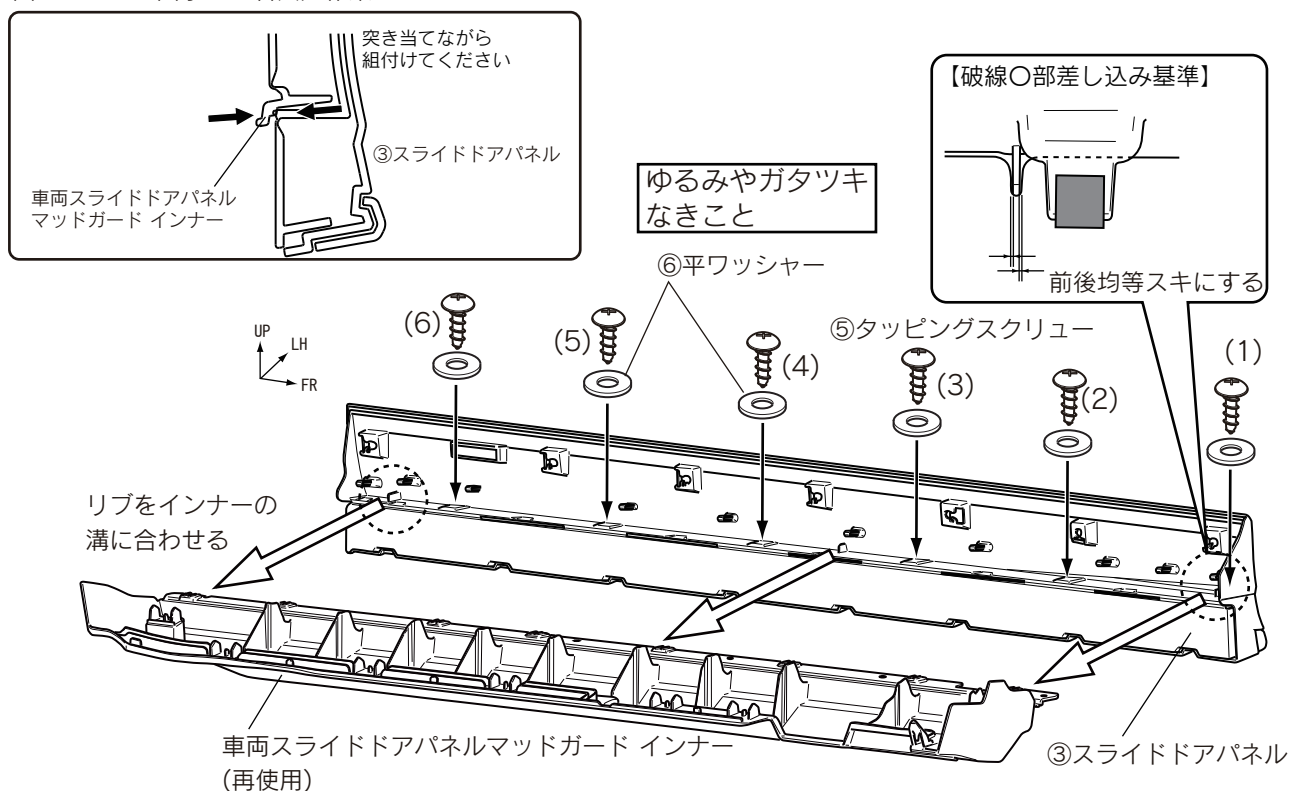
4.図4のように車両フロントドアパネルマッドガードインナーの先端側をニッパー等でカットする。

図5 ※LH図示 左右共通作業



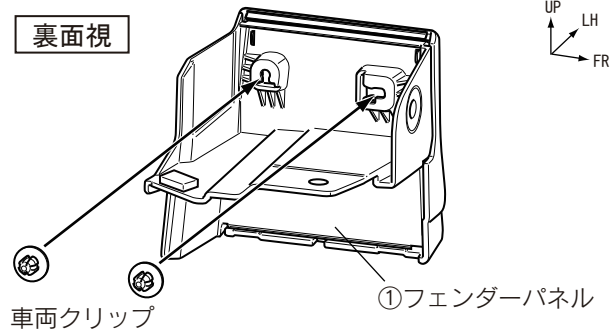
5. 図5のように②フロントドアパネルの爪を車両フロントドアパネルマッドガードインナーに嵌合させ、⑤タッピングスクリューと⑥平ワッシャーで(1)～(3)の順に固定する。(3箇所)

図6 ※LH図示 左右共通作業



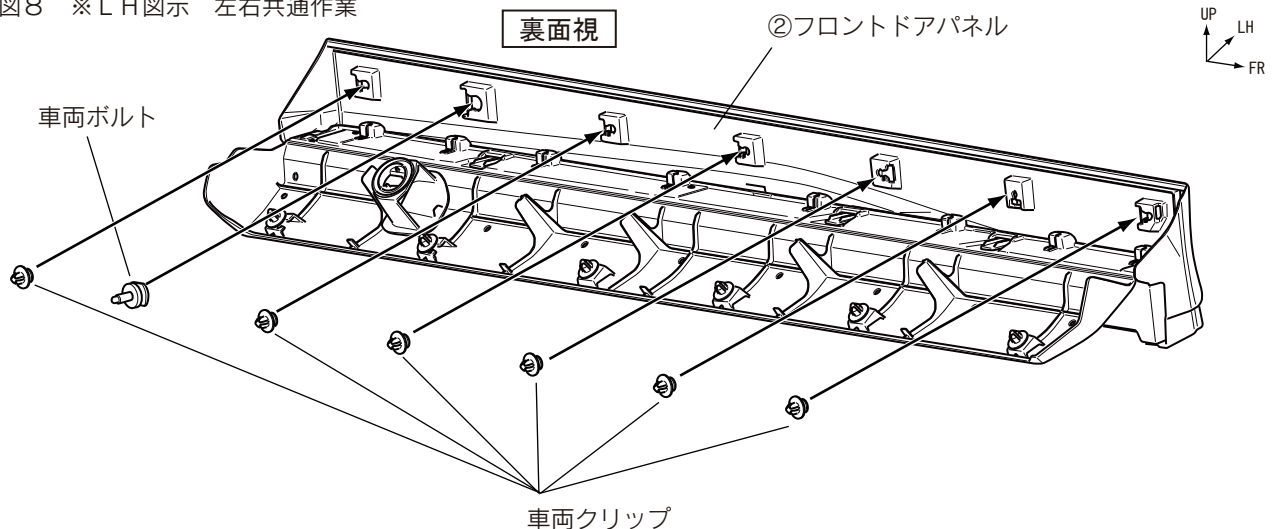
6. 図6のように③スライドドアパネルを車両スライドドアパネルマッドガードインナーに合わせ、⑤タッピングスクリューと⑥平ワッシャーで(1)～(6)の順に固定する。(6箇所)

図7 ※LH図示 左右共通作業



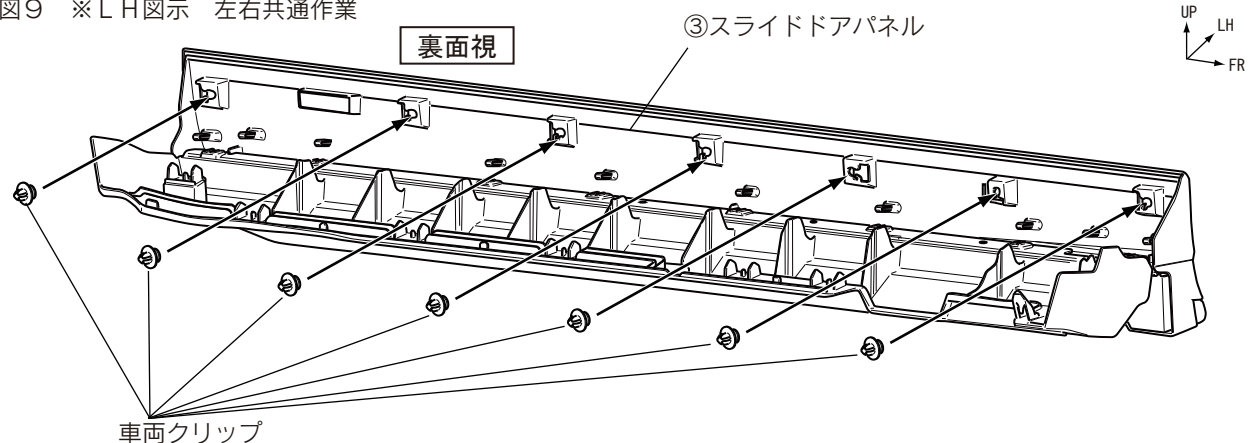
7.車両フェンダーパネルマッドガードからクリップを取り外し、図7のように①フェンダーパネルに取り付ける。

図8 ※LH図示 左右共通作業



8.車両フロントドアパネルマッドガードアウターからクリップとボルトを取り外し、図8のように②フロントドアパネルに取り付ける。

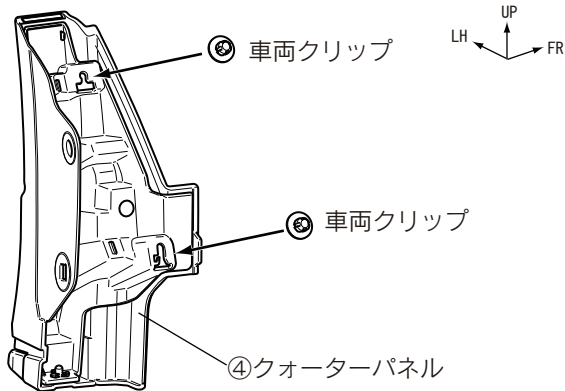
図9 ※LH図示 左右共通作業



9.車両スライドドアパネルマッドガードアウターからクリップを取り外し、図9のように③スライドドアパネルに取り付ける。

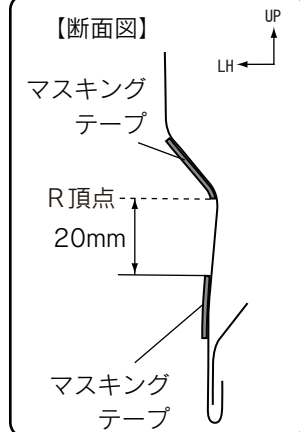
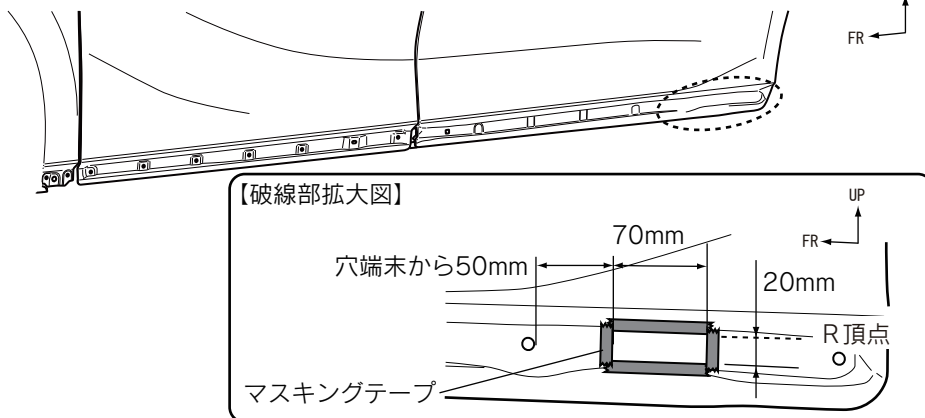
図10 ※LH図示 左右共通作業

裏面視



10. 車両クォーターパネルマッドガードからクリップを取り外し、図10のように④クォーターパネルに取り付ける。

図11 ※LH図示 左右共通作業

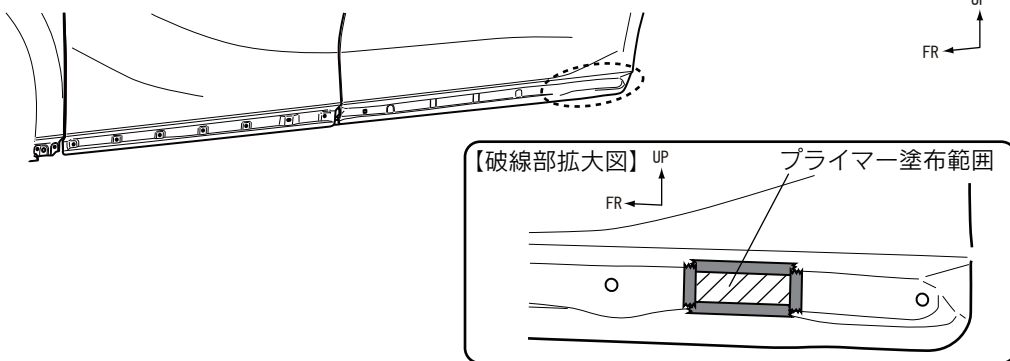


11. 図11のように車両スライドドアにマスキングする。

△注意: 車両スライドドアパネルを取り外した際の両面テープが残っている場合はきれいに剥がしてください。

△注意: PACプライマー塗布範囲のマスキング作業のため正確な位置出し、マスキングを行ってください。

図12 ※LH図示 左右共通作業



12. 図12のように③スライドドアパネルの両面テープ貼り付け部（斜線部）を清掃・脱脂し、⑧PACプライマー N-200を塗布する。

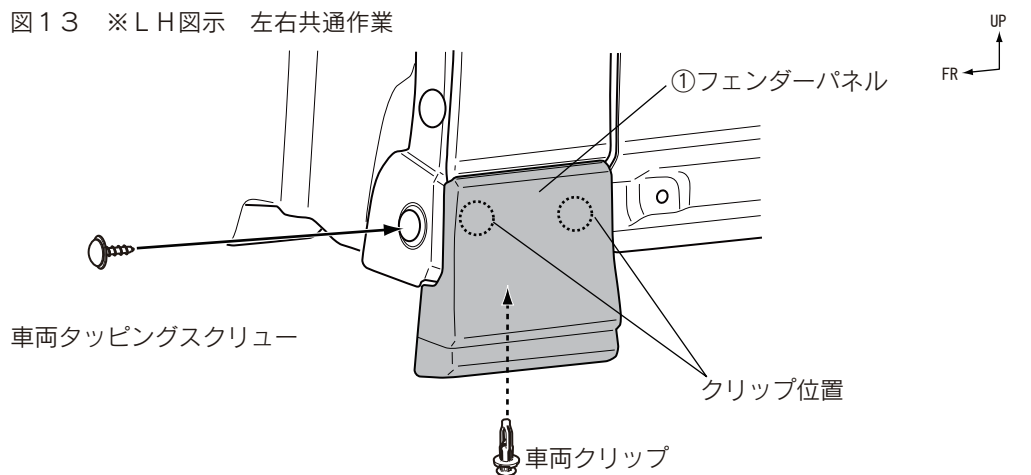
👉アドバイス: 清掃・脱脂の際は、脱脂要領書を確認してください。

△注意: プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにイソプロピルアルコール(IPA)で拭き取ってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

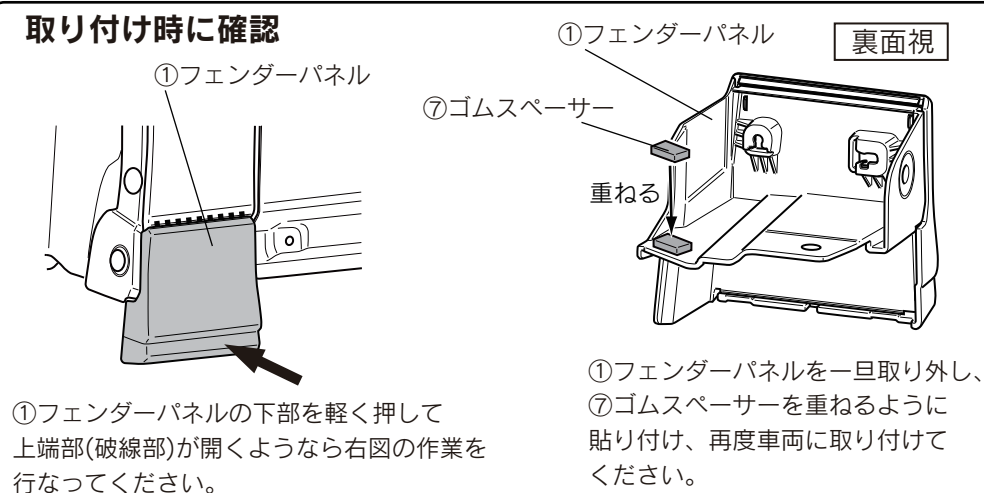
13. 全てのマスキングテープを剥がす。

□サイドスカート取付要領

図13 ※LH図示 左右共通作業

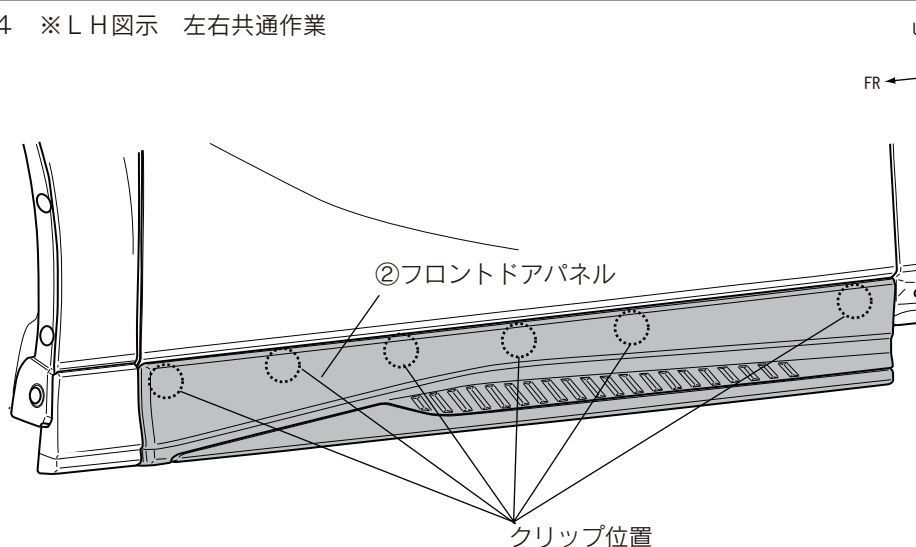


取り付け時に確認



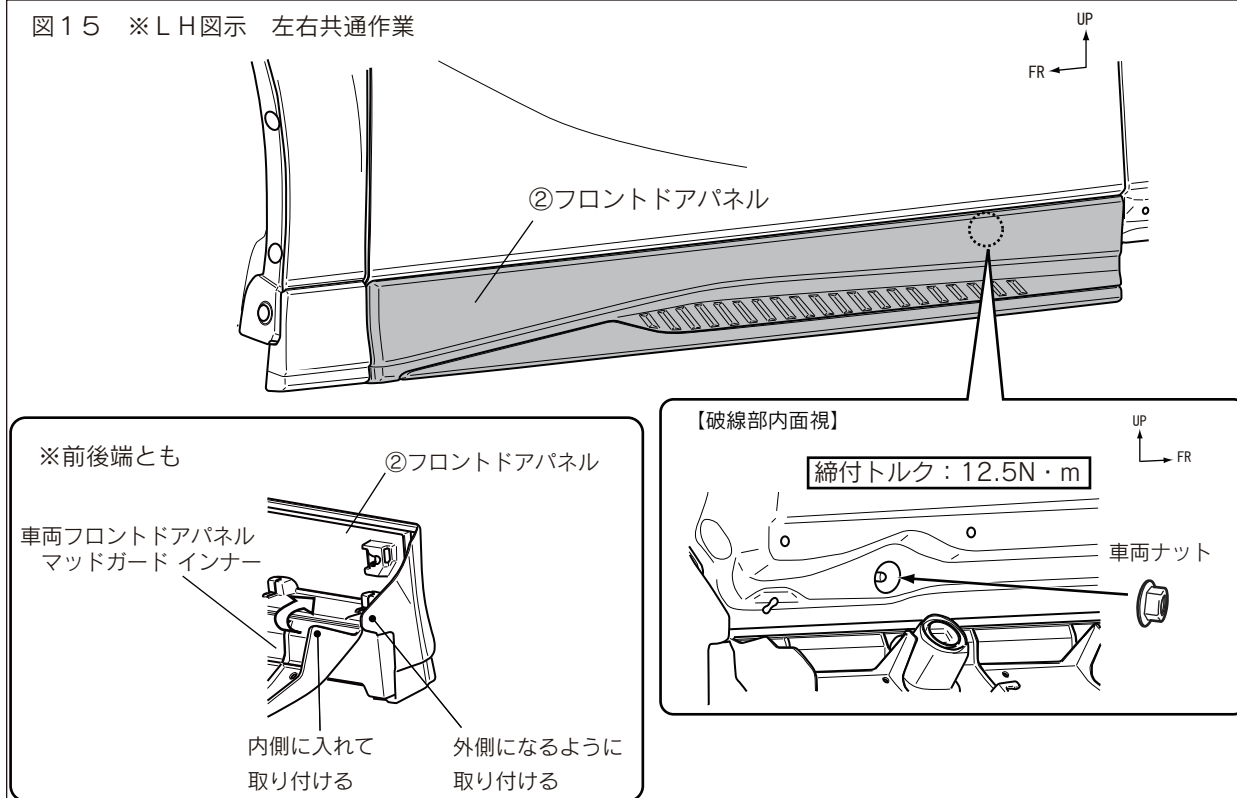
1. 図13のように①フェンダーパネルのクリップ部を車両穴に合わせて押し込み、車両タッピングスクリューと車両クリップで固定する。

図14 ※LH図示 左右共通作業



2. 図14のように②フロントドアパネルのクリップ部を車両穴に合わせて押し込む。

図15 ※LH図示 左右共通作業

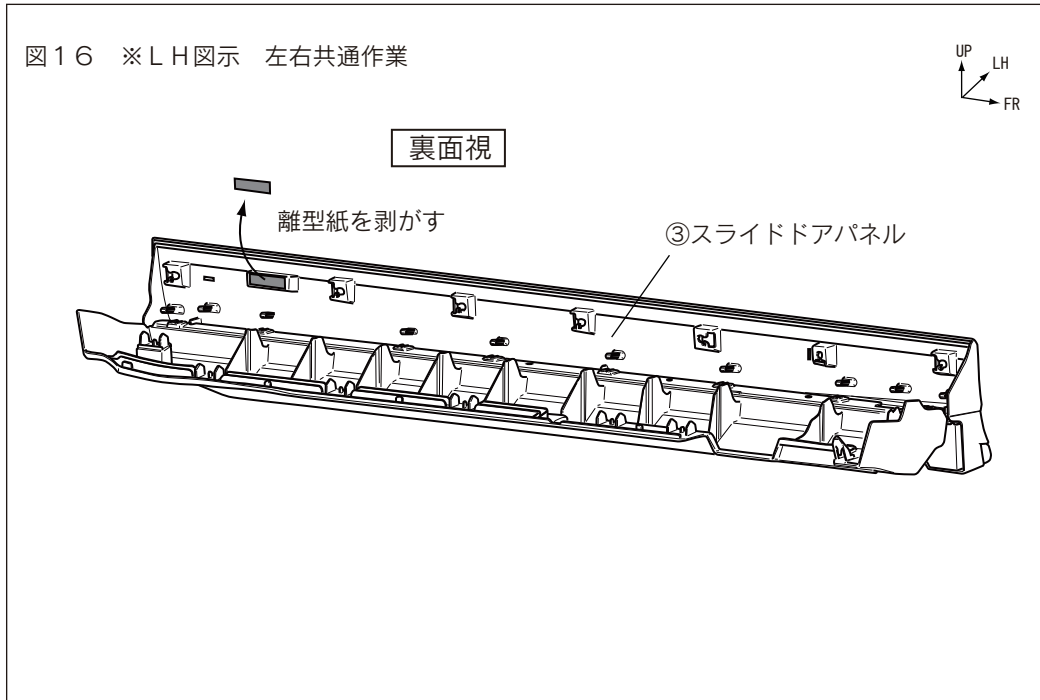


3.図15のように②フロントドアパネルのボルト部に車両ナットを取り付ける。

4.車両フロントドアパネル インナーを復元する。

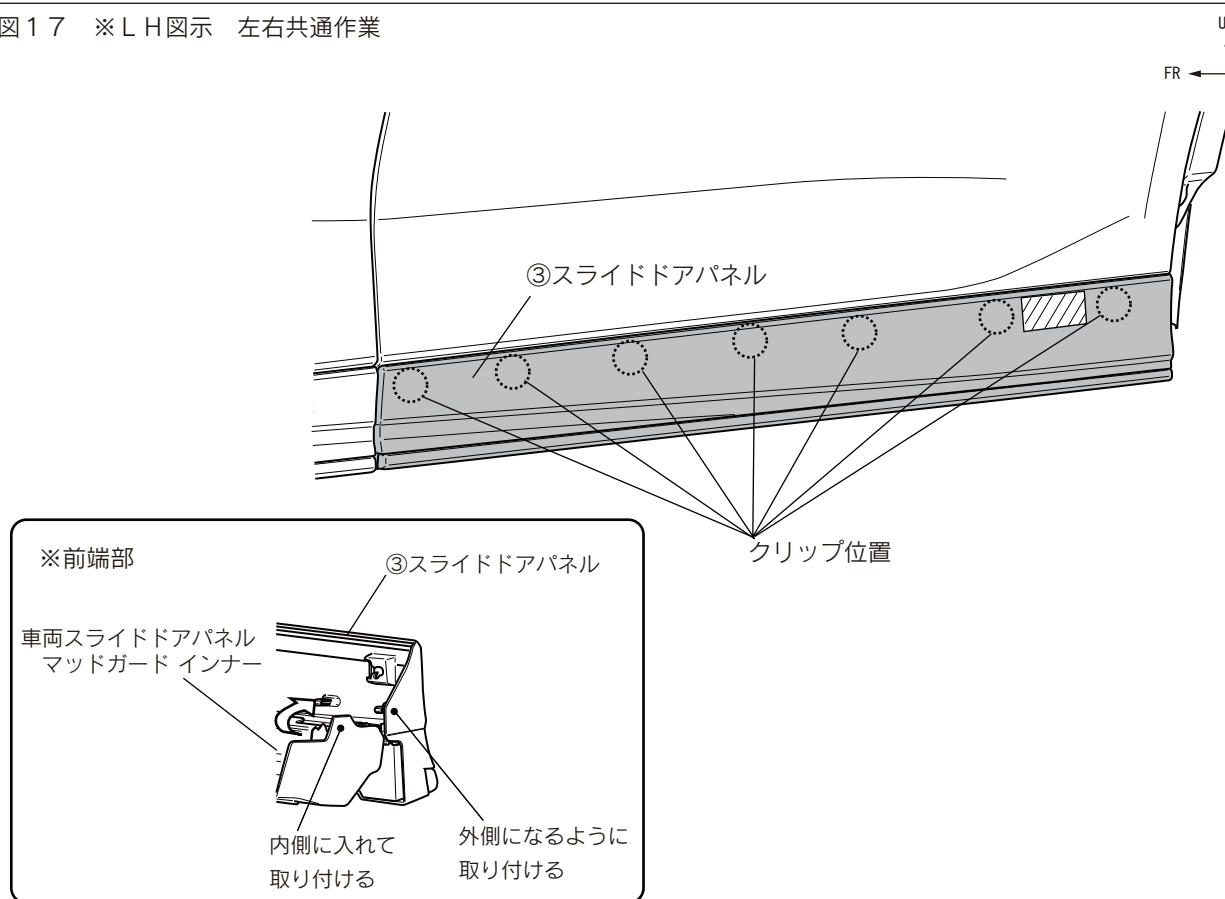
アドバイス: 車両部品を復元する際は、トヨタ自動車整備マニュアルを参照して下さい。

図16 ※LH図示 左右共通作業

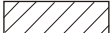


5.図16のように③スライドドアパネルの両面テープ離型紙を剥がす。

図17 ※LH図示 左右共通作業



6.図17のように③スライドドアパネルのクリップ部を車両穴に合わせて押し込む。

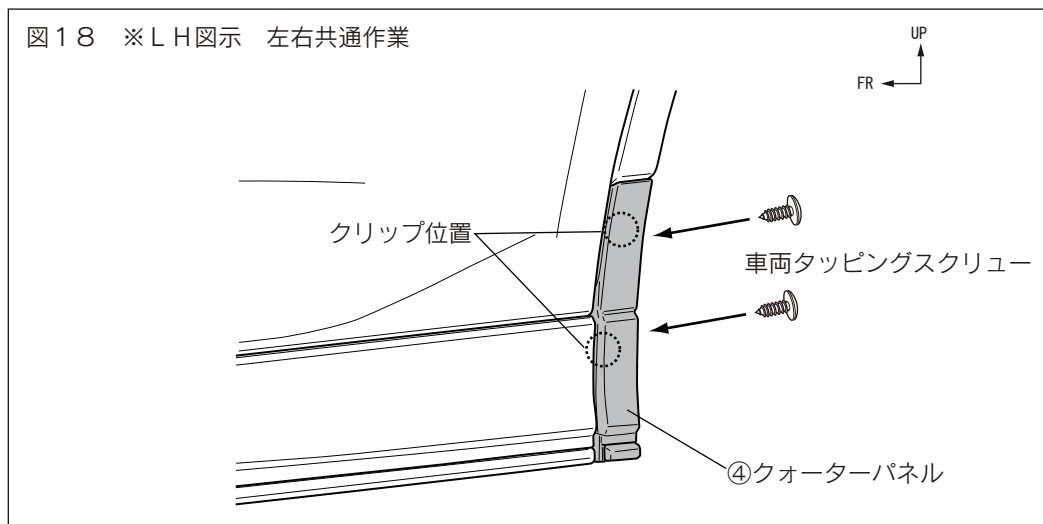
7.③スライドドアパネルの両面テープ範囲  を圧着する。

8.両面テープの圧着は、49N(5kgf)程度の力で行ってください。

9.車両スライドドアパネル インナーを復元する。

 **アドバイス:** 車両部品を復元する際は、トヨタ自動車整備マニュアルを参照して下さい。

図18 ※LH図示 左右共通作業



10.図18のように④クォーターパネルのクリップ部を車両穴に合わせて押し込み、車両タッピングスクリューでフェンダーライナーと固定する。

11.車両フェンダーライナーを復元する。

 **アドバイス:** 車両部品を復元する際は、トヨタ自動車整備マニュアルを参照して下さい。

塗装済み品の取り付けは、5ページ【サイドスカーートの取り付け準備】に進み作業を行ってください。

■未塗装品の取り扱いについて

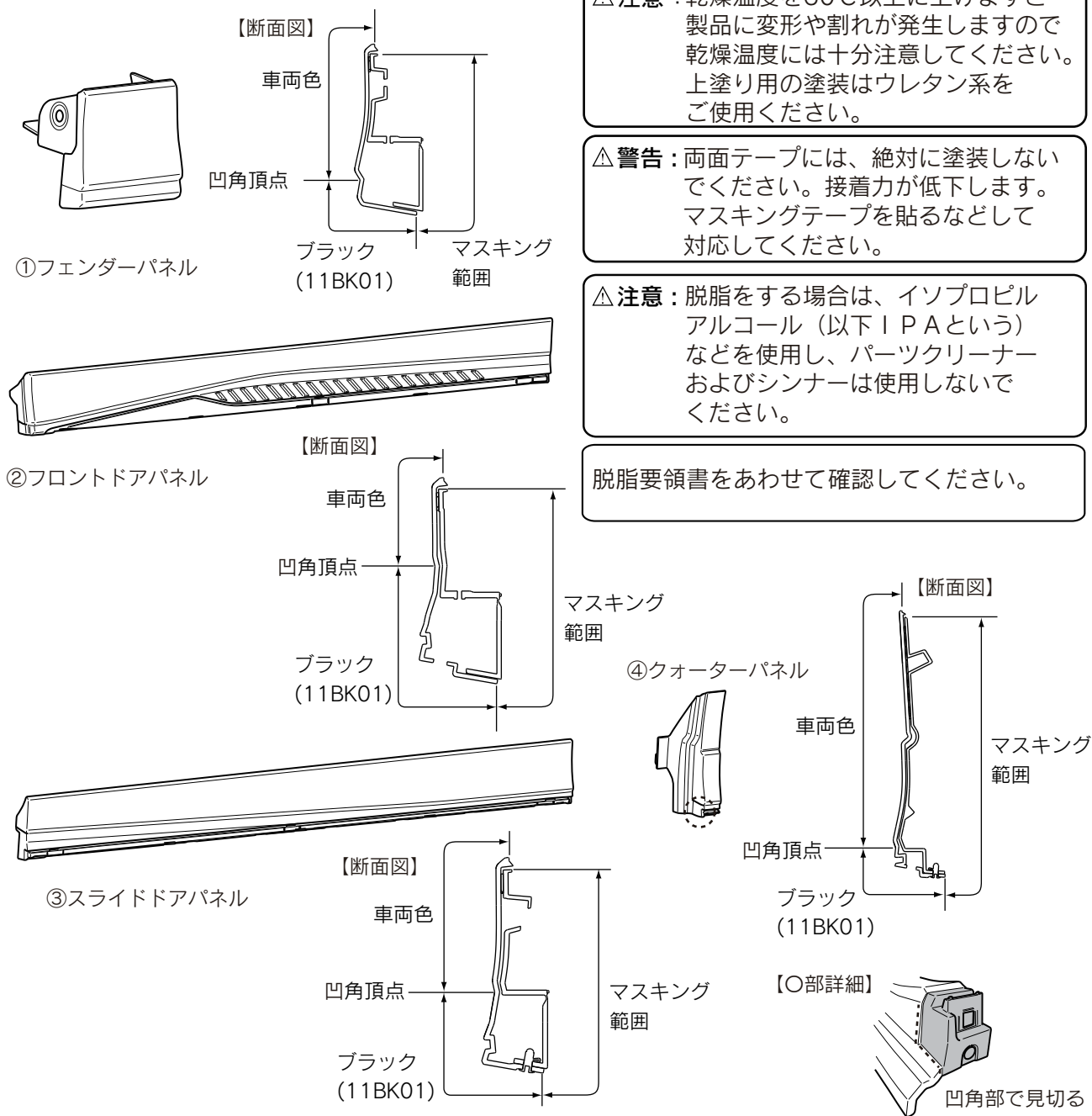
下記は未塗装品（MSD44-58014-NP）の塗装前、塗装後の作業を記載しています。
下記要領に従い作業を行ってください。

△注意：本製品は下地処理として、製品表面の面出しまで実施してあります。塗装前の下地処理として、足付け、脱脂、プライマーサフェーサー塗装は販売店様にて実施してください。

※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

□サイドスカーートの塗装

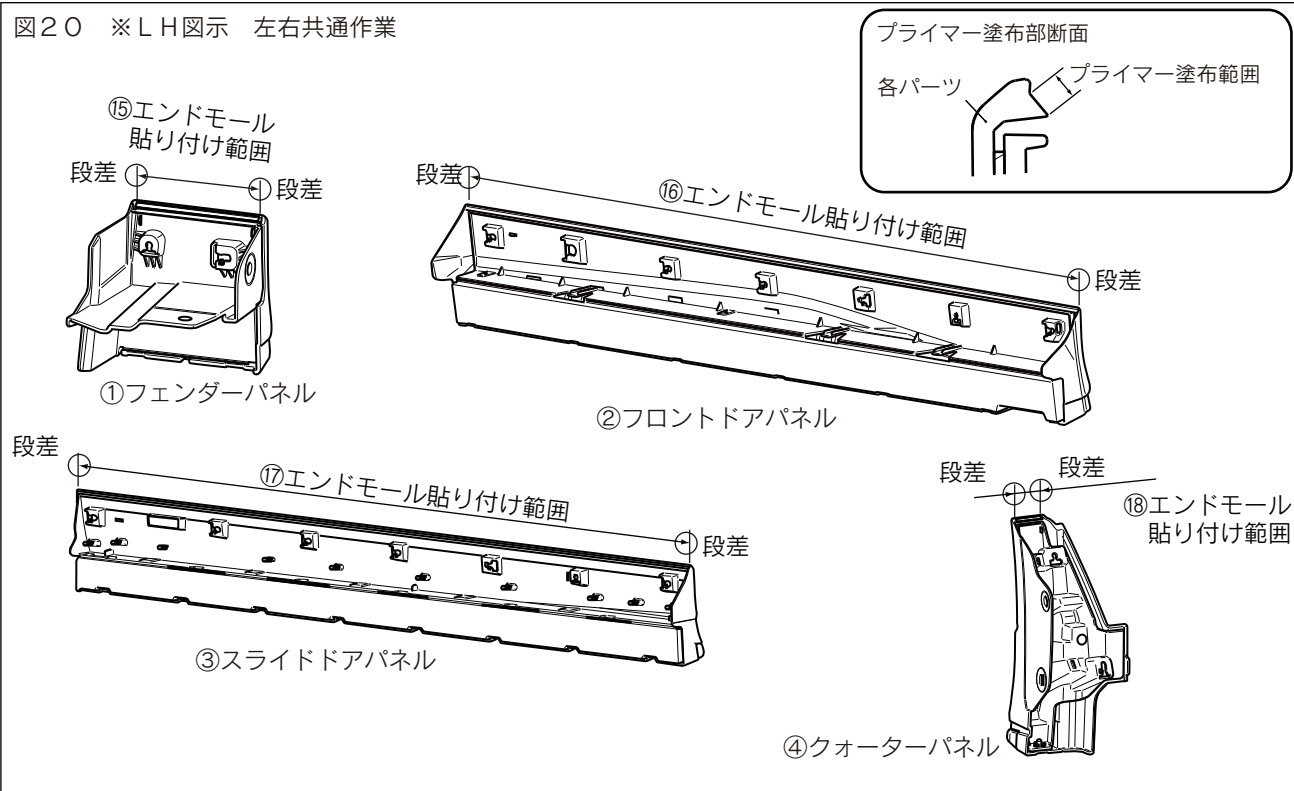
図19 ※LH図示 左右共通作業



1. 図19のように①フェンダーパネル②フロントドアパネル③スライドドアパネル④クォーターパネルを車両色とブラックで塗装する。

□エンドモールの貼り付け

図20 ※LH図示 左右共通作業



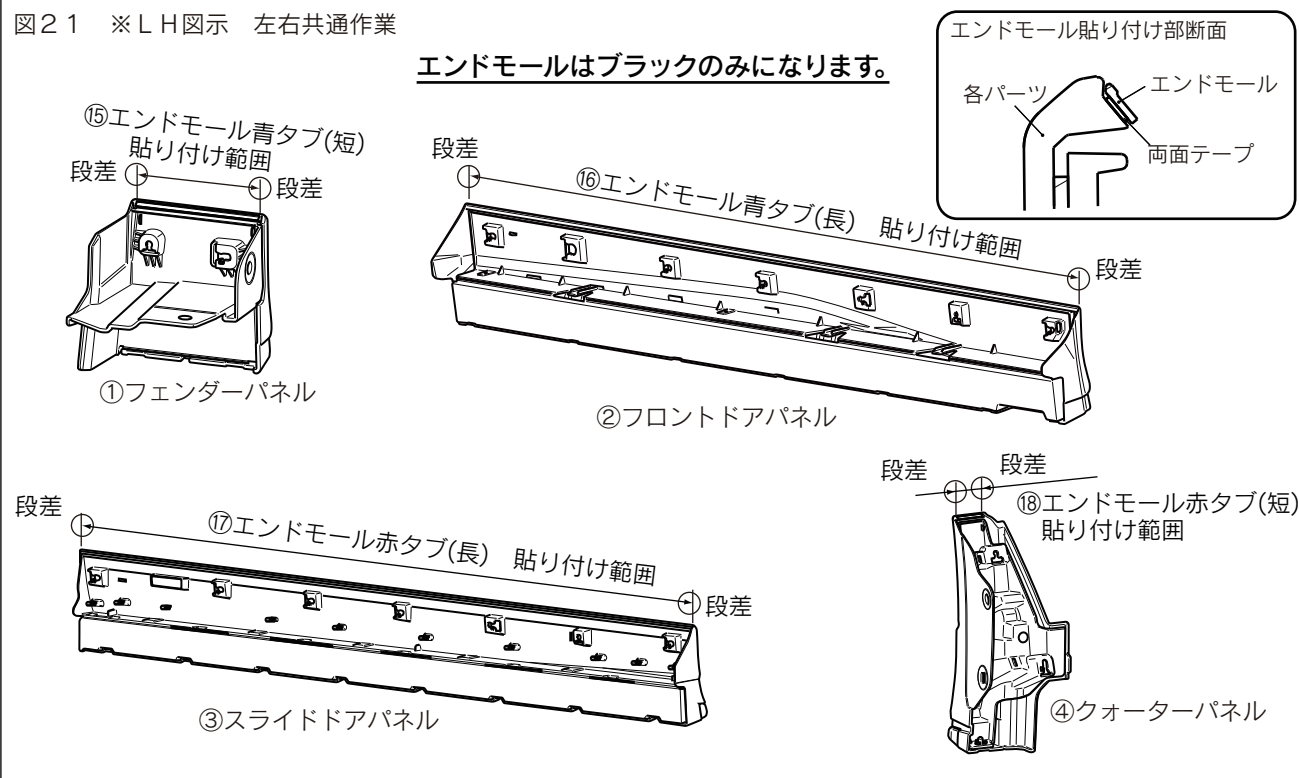
1.図20のように各パーツのエンドモール貼り付け部(断面図参照)を清掃・脱脂し、⑭PACプライマーK-500を塗布する。

アドバイス: 清掃・脱脂の際は、脱脂要領書を確認してください。

△注意: プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにイソプロピルアルコール(IPA)で拭き取ってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

図21 ※LH図示 左右共通作業

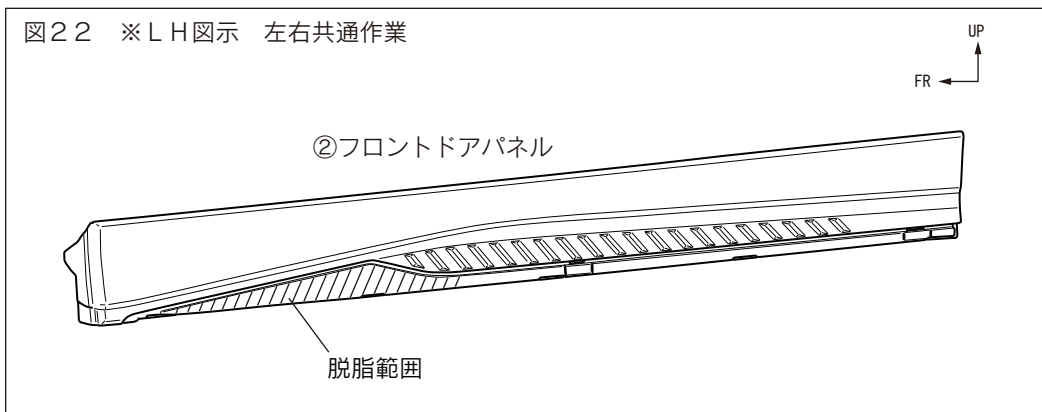
エンドモールはブラックのみになります。



2.図21のように⑮～⑱エンドモールの両面テープの離型紙を剥がしながら貼り付け圧着する。

□メッキパーツ取付要領

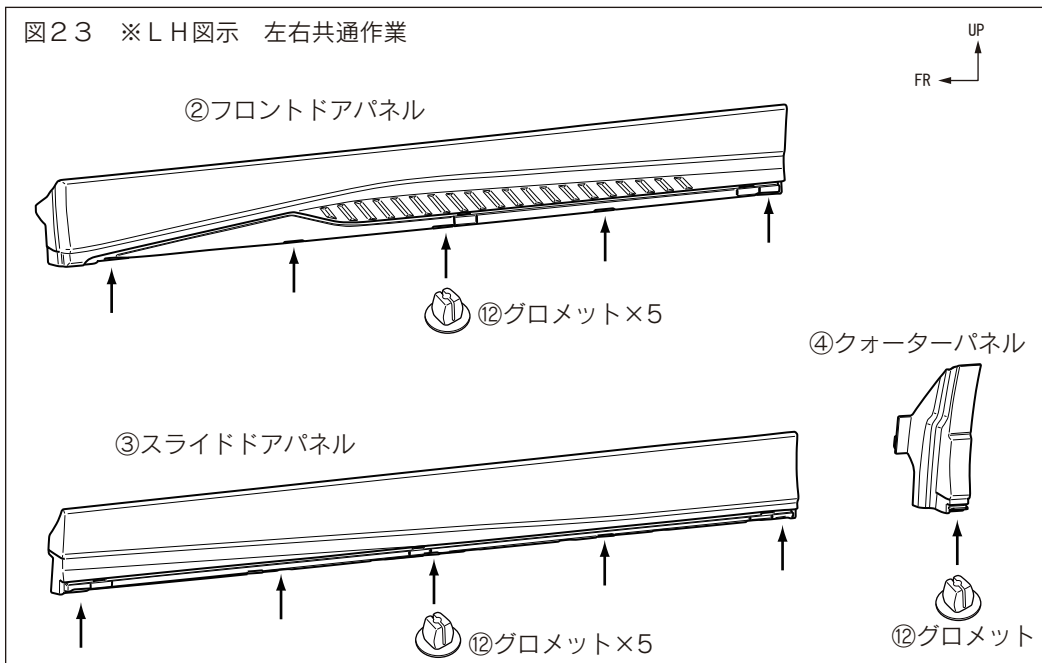
図22 ※LH図示 左右共通作業



1. 図22のように②フロントドアパネルのメッキパーツ貼り付け部(上記斜線部)を清掃・脱脂する。

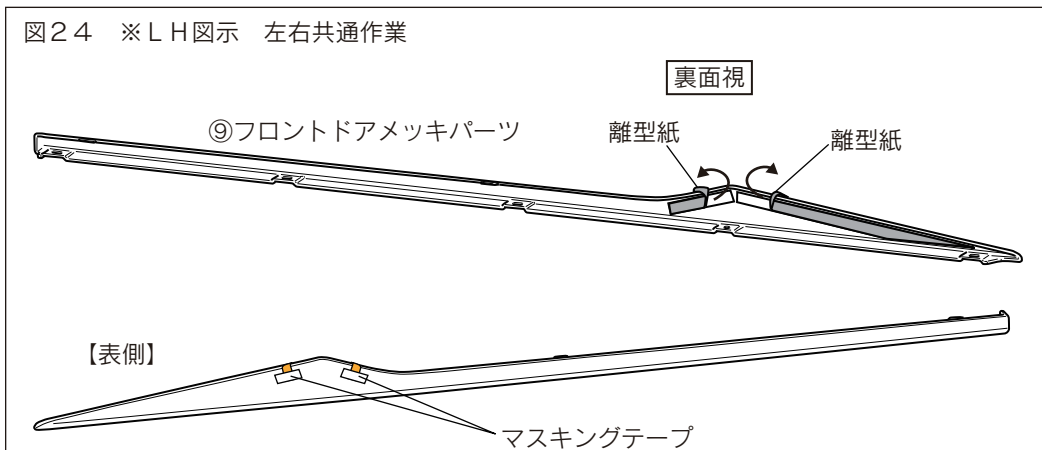
アドバイス: 清掃・脱脂の際は、脱脂要領書を確認してください。

図23 ※LH図示 左右共通作業



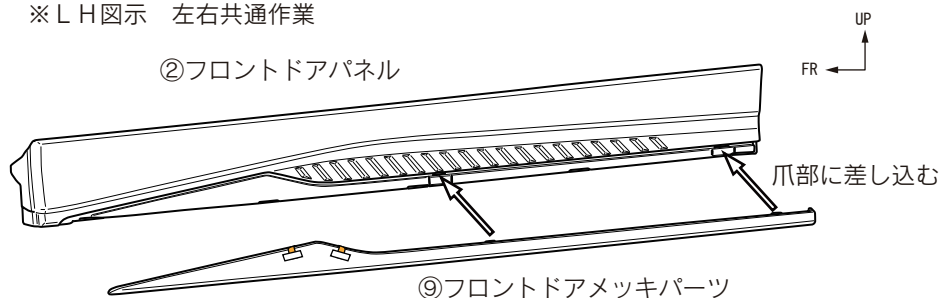
2. 図23のように各パーツの下面□穴に⑫グロメットを差し込む。

図24 ※LH図示 左右共通作業



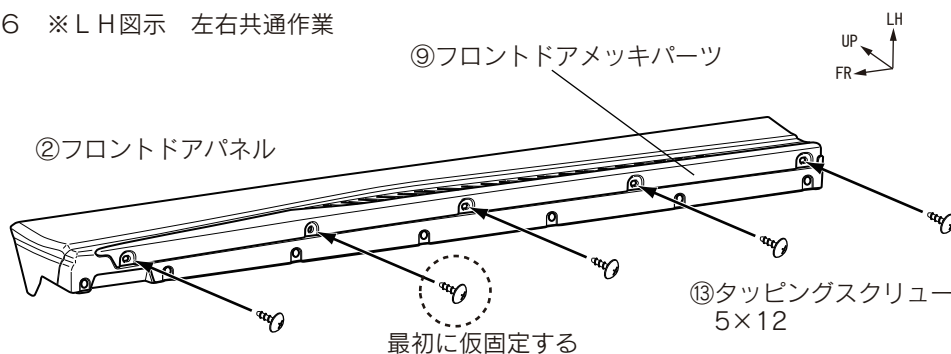
3. 図24のように⑨フロントドアメッキパーツの両面テープ離型紙を矢印の方向に剥がして、マスキングテープで表側に貼りつける。

図25 ※LH図示 左右共通作業



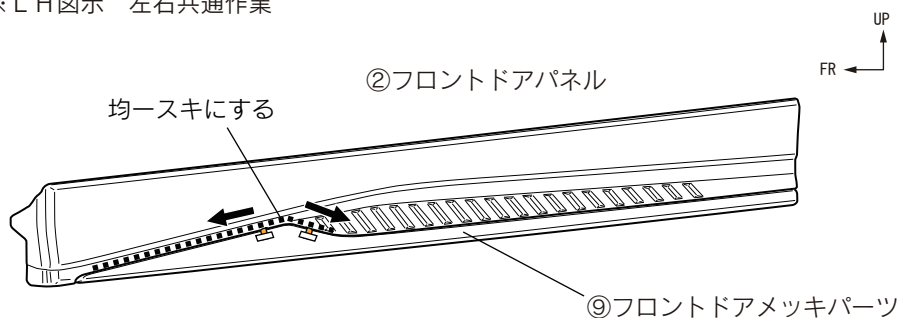
4. 図25のように⑨フロントドアメッキパーツを②フロントドアパネルに取り付ける。

図26 ※LH図示 左右共通作業



5. 図26のように⑬タッピングスクリュー5×12で⑨フロントドアメッキパーツを仮固定する。

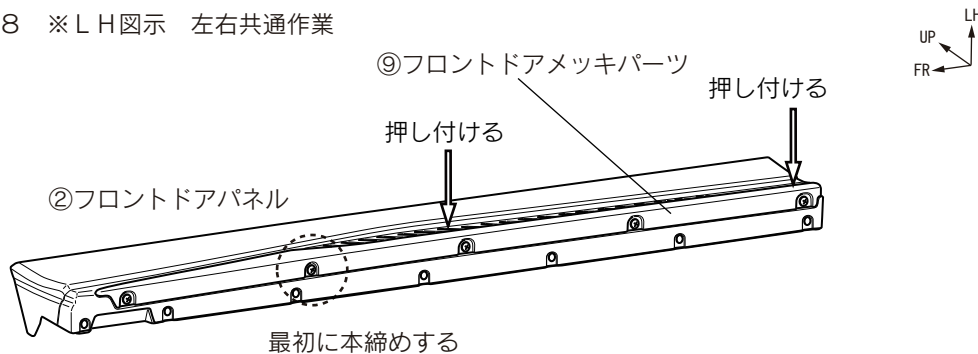
図27 ※LH図示 左右共通作業



6. 図27のように破線部を⑨フロントドアメッキパーツと②フロントドアパネルのスキマを均等にし、両面テープ離型紙を矢印の方向に引き抜き、圧着する。

7. 両面テープの圧着は、49N(5kgf)程度の力で行ってください。

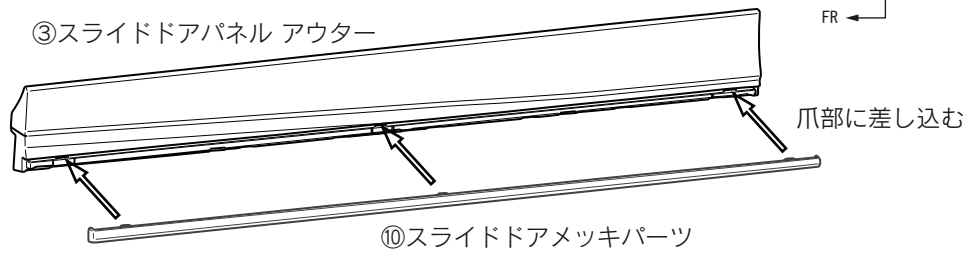
図28 ※LH図示 左右共通作業



8. 図28のように爪嵌合部の⑨フロントドアメッキパーツ表面を押し付けながら⑬タッピングスクリューを本締めする。

図29 ※LH図示 左右共通作業

③スライドドアパネル アウター



⑩スライドドアメッキパーツ

9.図29のように⑩スライドドアメッキパーツを③スライドドアパネルに取り付ける。

図30 ※LH図示 左右共通作業

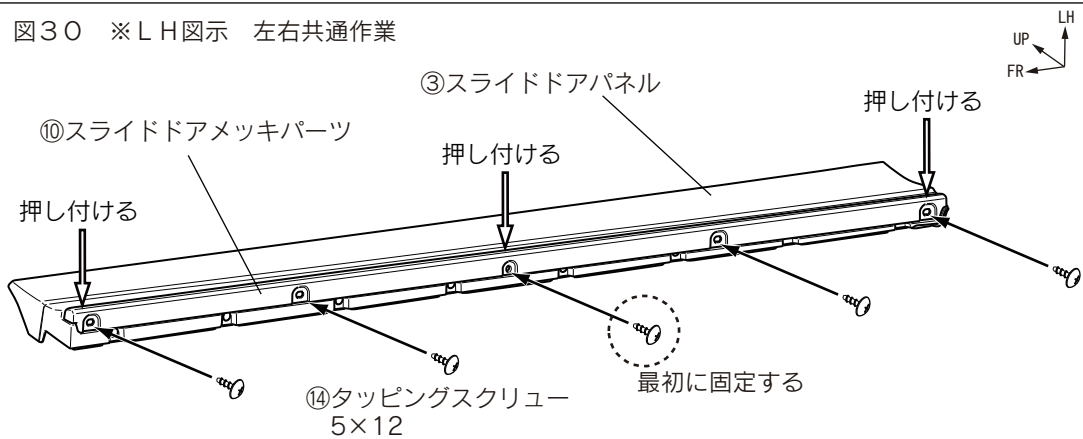
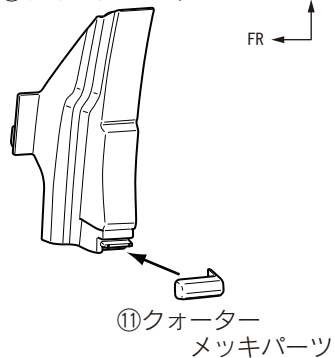
⑭タッピングスクリュー
5×1210.図30のように爪嵌合部の⑩スライドドアメッキパーツ表面を押し付けながら
⑬タッピングスクリューで固定する。

図31 ※LH図示 左右共通作業

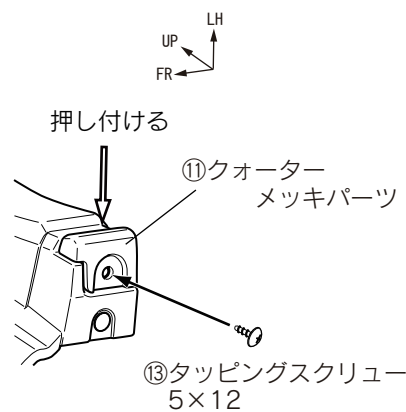
④クォーターパネル

⑪クォーター
メッキパーツ

下面視

④クォーターパネル

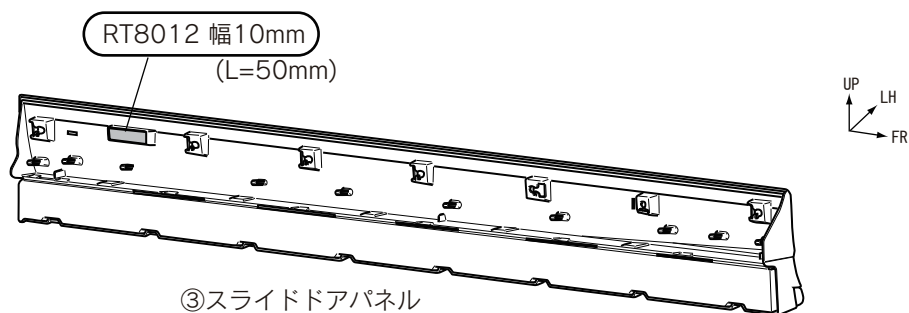
押し付ける

⑬タッピングスクリュー
5×1211.図31のように⑪クォーターメッキパーツを④クォーターパネルにかぶせ、
表面を押し付けながら ⑬タッピングスクリューで固定する。

■補修キット両面テープ貼り付け

補修キットを使用してサイドスカートの再取り付けを行う際は、図を参考に両面テープを選択し貼り付けてください。

図32 ※LH図示 左右共通作業

**■取り付け完了後の点検・注意事項**

1. 製品全周に渡り、浮き・剥がれ等、無いことを確認する。
2. 車両及びサイドスカート廻りに傷が付いていないことを確認する。
3. 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。
4. 該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

株式会社トヨタカスタマイジング&ディベロップメント

MODELLISTA 商品問い合わせ窓口

TEL:050-3161-1000

<https://www.modellista.co.jp/>

脱脂作業要領書

本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を
解説動画でご覧いただけます。
右のQRコードよりアクセスのうえ
ご確認ください。

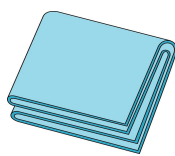


- ①エアロ取付準備・脱脂 (約3分)
- ②エアロ位置決め・取付・圧着 (約6分)
- ③デカール準備・水貼り・圧着 (約4分)
- 合計 約13分

取付け時の脱脂作業に必要な工具等



水拭き用バケツ



合成セーム皮



脱脂剤用
スプレーボトル



ゴム手袋



DRY 用
ウエス



WET 用
ウエス



イソプロピルアルコール(IPA)
※純度 100%推奨

脱脂作業上の注意事項

1. ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
2. 隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等を行わないで下さい。
※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
3. 脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
4. 脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
5. 脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

 注 意・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。



アドバイス・・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。

★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。

下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。

大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。

脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。

《脱脂作業前に》以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

■ 脱脂作業前に

- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。
汚れのひどい場合は、洗浄剤を使用して汚れを落とし、洗浄剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。
※コーティング剤が残っていると両面テープはハガれます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

■ 脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。



水拭き用バケツ



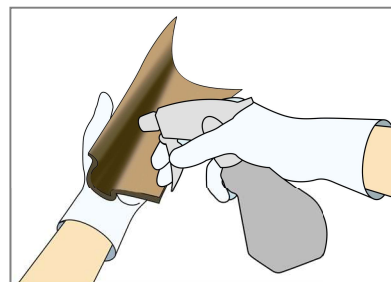
合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。



WET 用ウエス

※ ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。



WET 用ウエスにスプレーボトルを 5 cm ほど離して、初回は 10 回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。
以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で 5 回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】

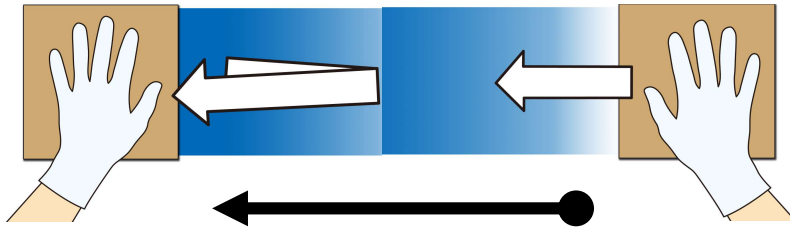
脱脂剤を含ませたウエスで

1 往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

②【DRY 拭き】

DRY 拭きウエスで一方向に

拭き上げ油脂分を取り除く



1 ブロック 60 cm 程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち

WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。

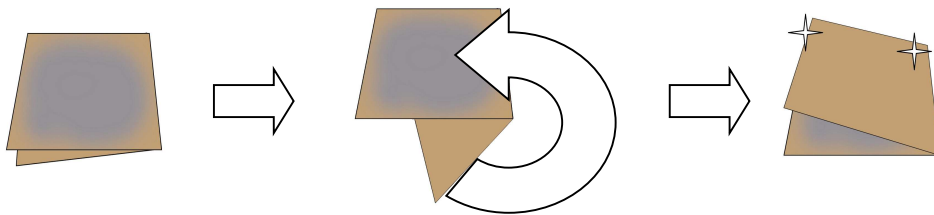
範囲が広い場合は 1 ブロック 毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる



WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを行ってください。

(上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。)

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が残っていますので、再度 WET・DRY 拭きを行ってください。



WET/DRY のウエス共に 3～5 ブロック 毎にウエス表面を折り返しウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。



汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際にウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。

パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書にしたがって行ってください。